

# 医薬事業戦略

2023年11月16日

常務取締役 医薬事業部長

西田 健一



# 目次

---

**1** 医薬事業実績報告

**2** 生産体制の取り組み

# 医薬事業部門 損益(2023年度上期実績)

単位：百万円

	ニプロ医薬事業部 +ニプロファーマG	全星薬品工業	ニプロJMIファーマ	合計	前年	予算
<b>外部売上高</b>	<b>26,101</b>	<b>6,135</b>	<b>2,997</b>	<b>35,233</b>	<b>34,134</b>	<b>39,852</b>
対前年	103.9%	97.7%	109.8%	103.2%		
対予算	85.8%	92.5%	107.6%	88.4%		
<b>売上総利益</b>	<b>5,122</b>	<b>2,242</b>	<b>2,007</b>	<b>9,372</b>	<b>6,248</b>	<b>9,413</b>
対前年	332.8%	80.2%	104.9%	150.0%		
対予算	103.8%	85.9%	107.6%	99.6%		
<b>販管費</b>	<b>2,507</b>	<b>1,400</b>	<b>1,730</b>	<b>5,637</b>	<b>5,399</b>	<b>5,824</b>
対前年	90.2%	128.8%	112.8%	104.4%		
対予算	84.6%	104.9%	113.4%	96.8%		
<b>営業利益</b>	<b>2,615</b>	<b>842</b>	<b>277</b>	<b>3,735</b>	<b>849</b>	<b>3,589</b>
対前年	(+3,855)	49.3%	72.8%	439.9%		
対予算	132.5%	66.0%	81.6%	104.1%		

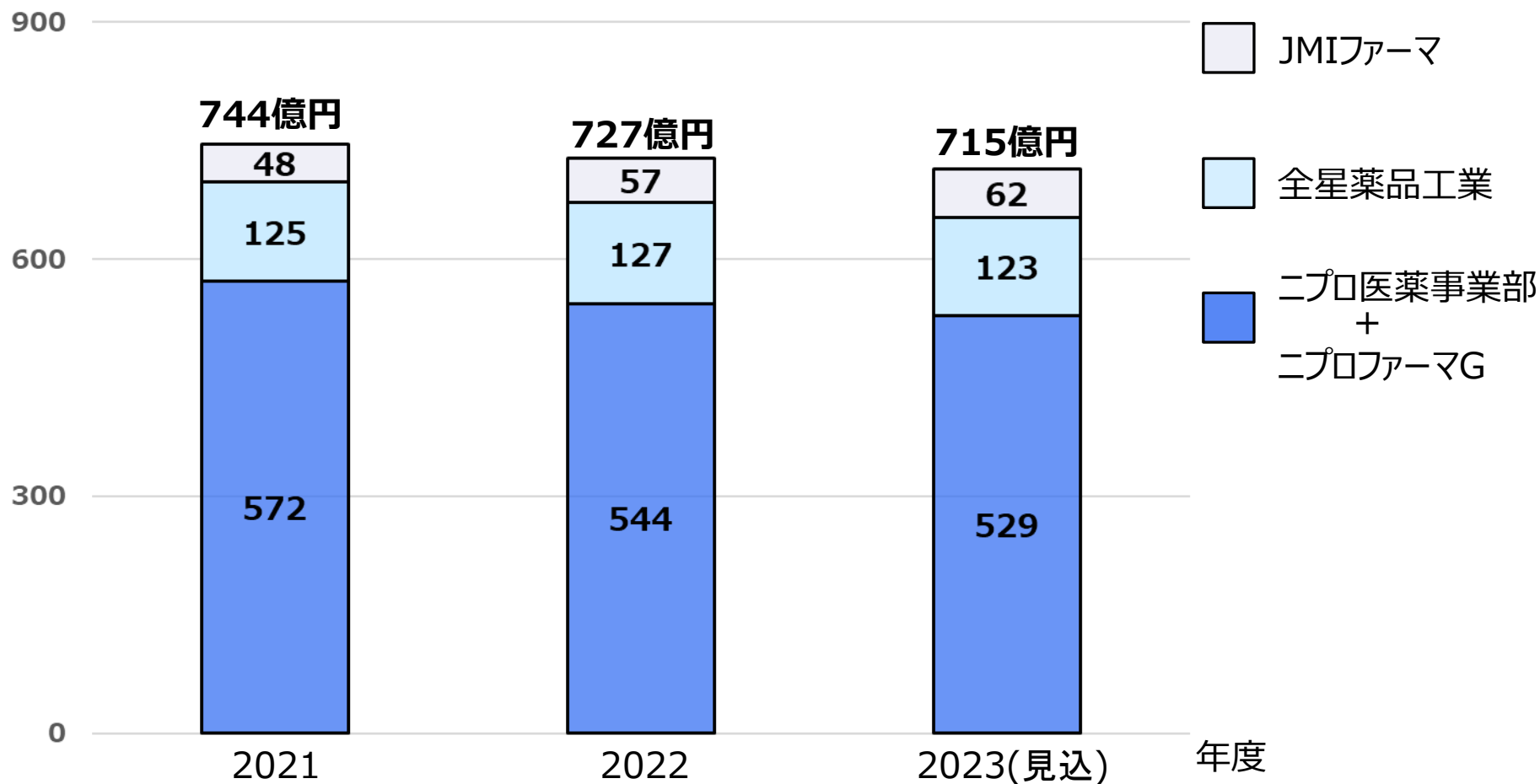
# 医薬事業部門 損益(2023年度通期見込)

単位：百万円

	ニプロ医薬事業部 +ニプロファーマG	全星薬品工業	ニプロJMIファーマ	合計	前年	予算
<b>外部売上高</b>	<b>52,929</b>	<b>12,322</b>	<b>6,248</b>	<b>71,500</b>	<b>72,735</b>	<b>79,703</b>
対前年	97.3%	97.0%	110.6%	98.3%		
対予算	87.0%	92.9%	112.1%	89.7%		
<b>売上総利益</b>	<b>7,096</b>	<b>4,482</b>	<b>4,142</b>	<b>15,720</b>	<b>16,015</b>	<b>18,825</b>
対前年	112.8%	77.2%	105.7%	98.2%		
対予算	71.9%	85.9%	111.0%	83.5%		
<b>販管費</b>	<b>5,902</b>	<b>2,680</b>	<b>3,538</b>	<b>12,120</b>	<b>10,399</b>	<b>11,648</b>
対前年	117.7%	121.5%	111.2%	116.5%		
対予算	99.6%	100.4%	115.9%	104.1%		
<b>営業利益</b>	<b>1,194</b>	<b>1,802</b>	<b>604</b>	<b>3,600</b>	<b>5,616</b>	<b>7,177</b>
対前年	93.5%	50.0%	82.1%	64.1%		
対予算	30.3%	70.6%	88.9%	50.2%		

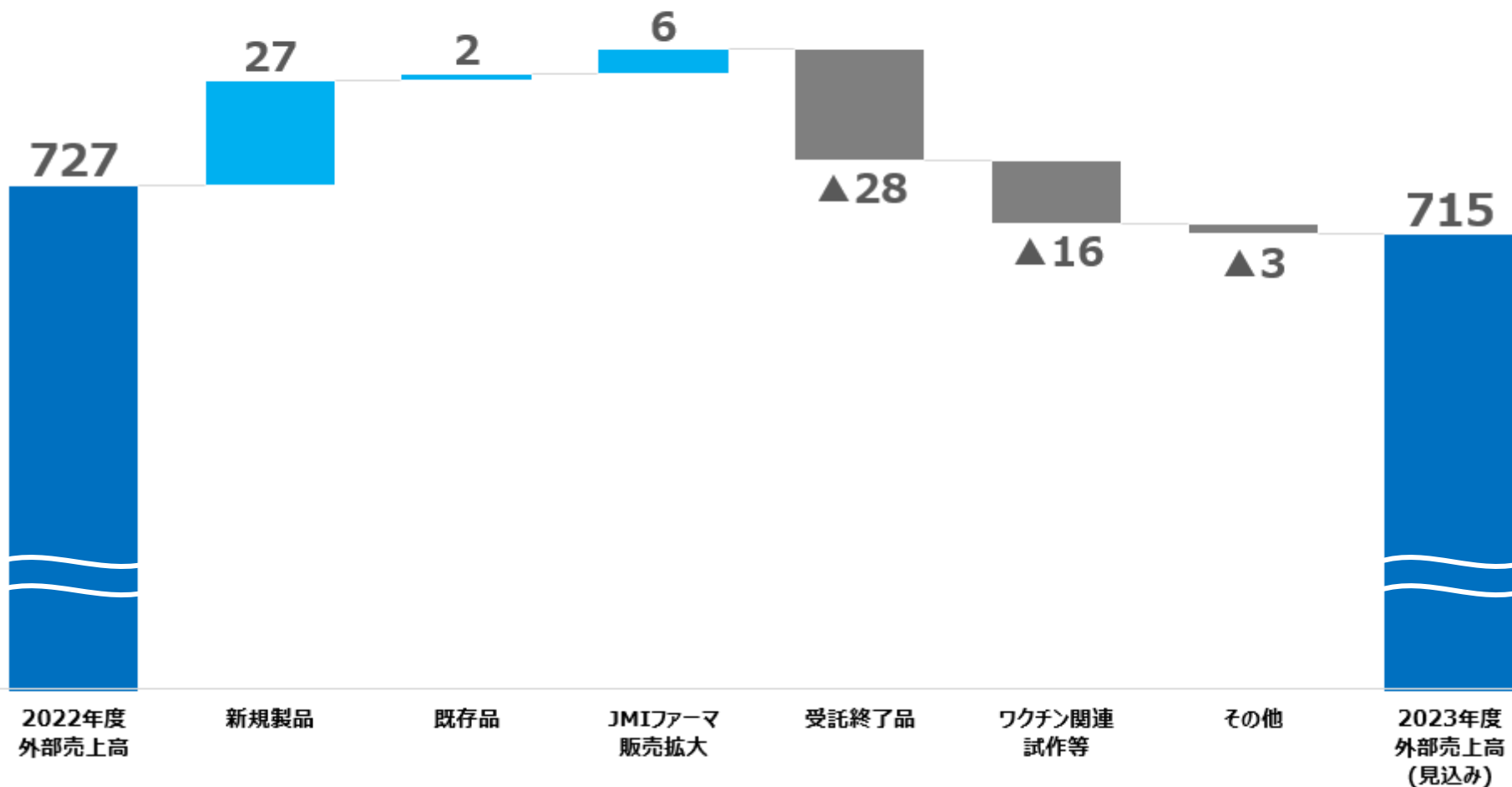
# 外部売上高の推移(通期)

単位：億円



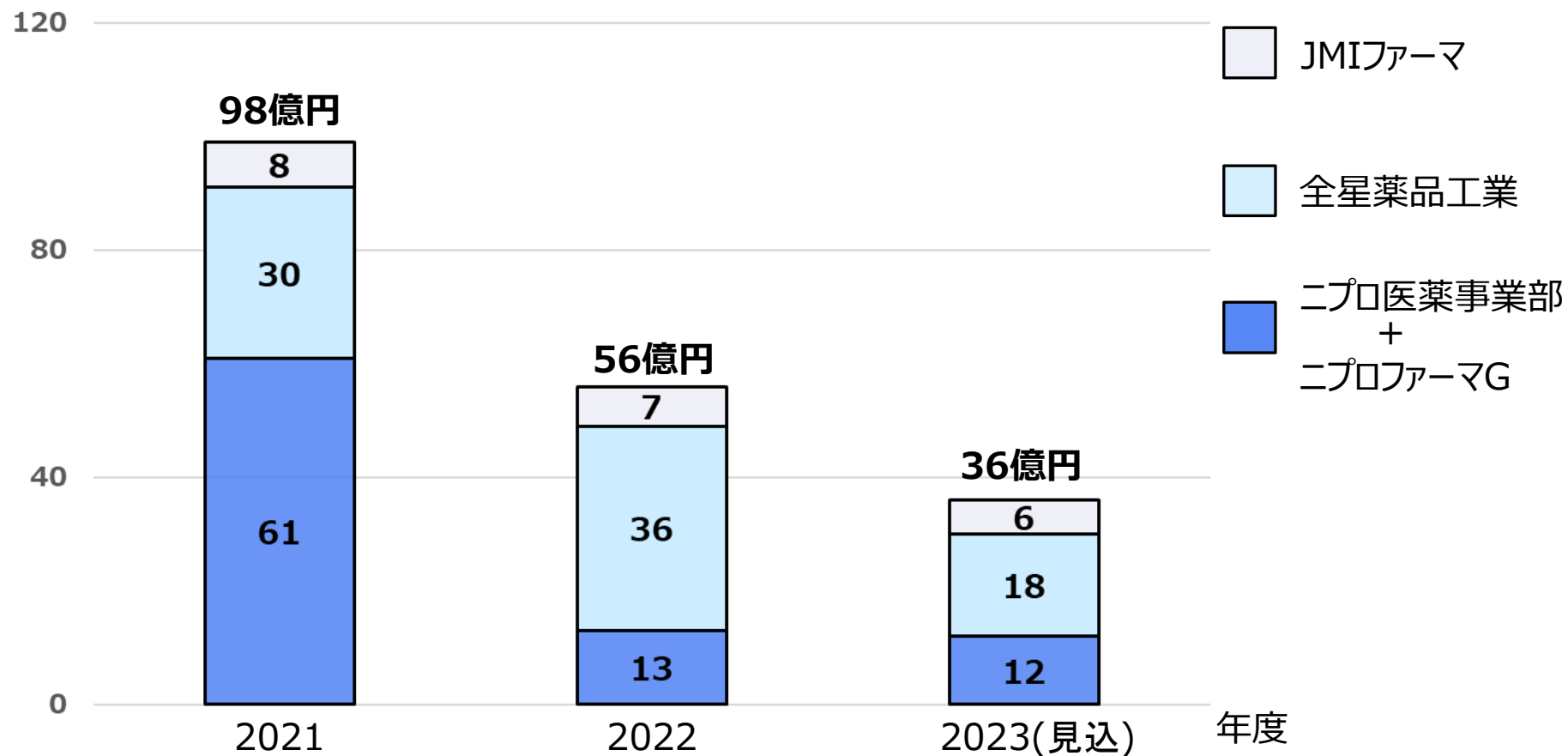
# 対前年 外部売上高の増減(通期)

単位：億円



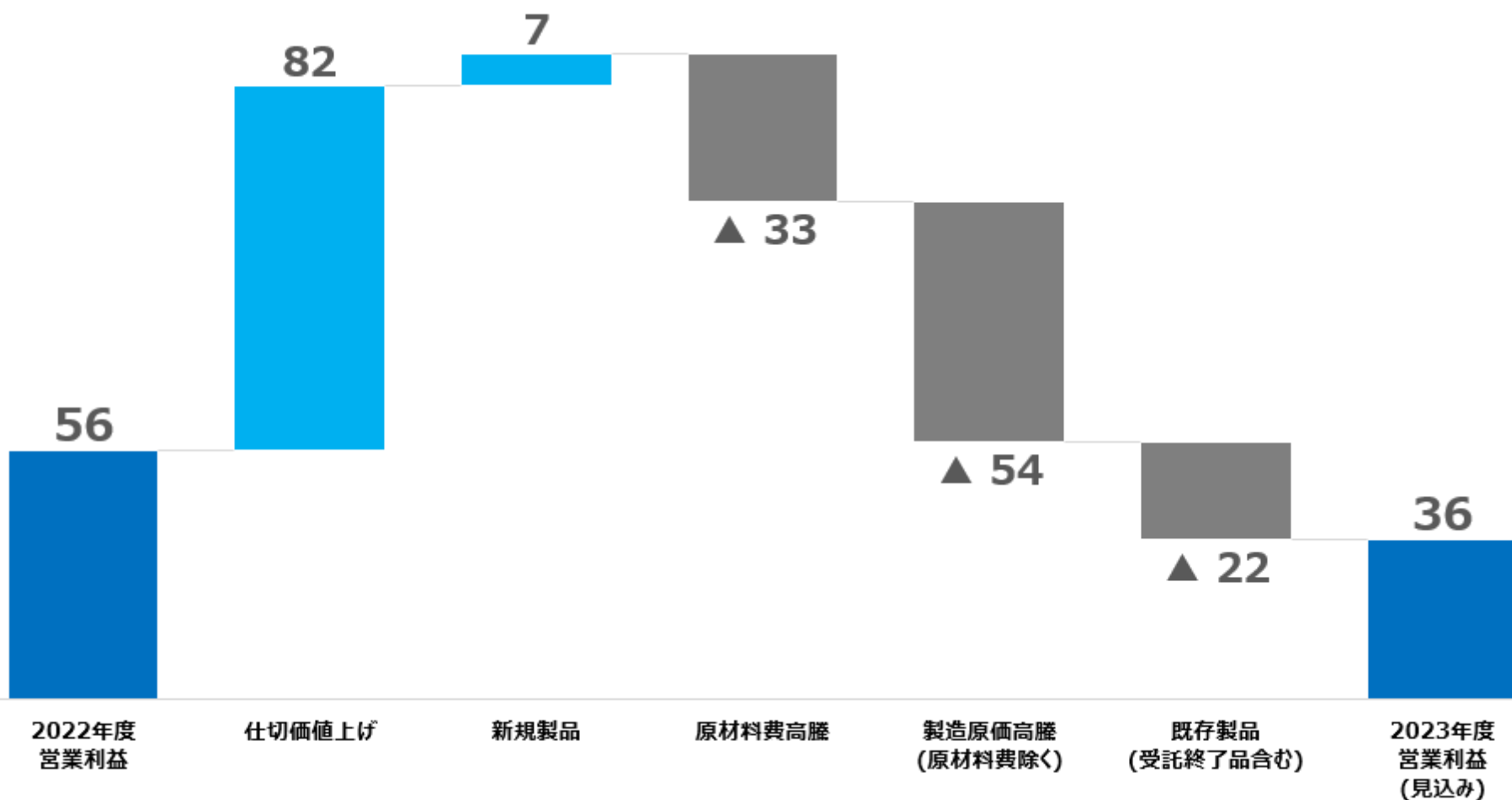
# 営業利益の推移(通期)

単位：億円



# 対前年 営業利益の増減(通期)

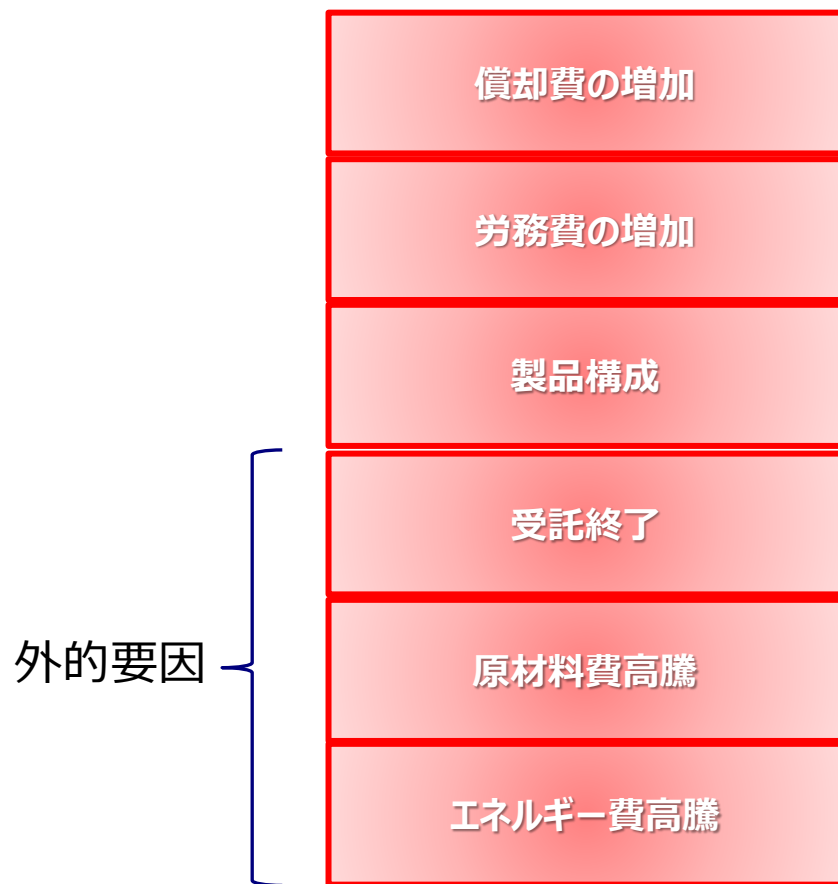
単位：億円



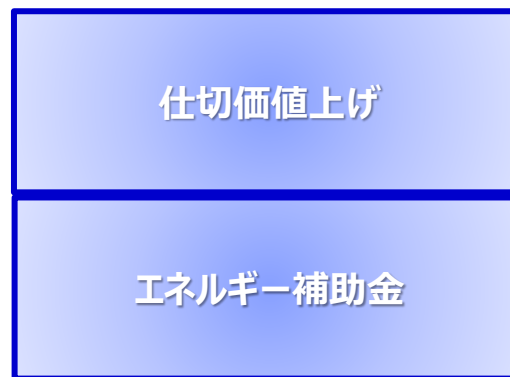


# 製造コスト増大への対応状況

## コスト増の要因



## コスト増への対応



# 目次

---

1

医薬事業実績報告

2

生産体制の取り組み

# 分析センター 2拠点設立

## ニプロファーマ 埼玉MF棟



所在地	埼玉県春日部市
試験能力	6,000ロット/年
試験開始	2023年12月
人数	81名(現在)

## ニプロファーマ 道修町分析センター



所在地	大阪府大阪市
試験能力	5,040ロット/年
試験開始	2024年3月
人数	45名(稼働時点)

# プレフィルドシリンジ製造棟の稼働開始

プレフィルドシリンジ生産能力 : 9,000万本/年 → 1.5億本/年

■ ニプロファーマ 伊勢工場

2023年10月から商用稼働を開始



ライン① 容量 : 1~3mL

生産予定

2023年度 :	163万本
2024年度 :	594万本
2025年度 :	819万本

ライン② 容量 : 5,10mL

生産予定

2023年度 :	513万本
2024年度 :	2,828万本
2025年度 :	3,104万本

\* 3社11品目の受託決定 ピーク時 : 約1,500万本/年

# 注射剤工場の設立

- ①抗菌薬注射剤(バイアル, バッグ)生産能力 : 4,000万本/年 → 5,000万本/年
- ②バイアル(抗菌薬除く)生産能力 : 3,000万本/年 → 8,000万本/年

## ■ ニプロファーマ 近江工場

2024年4月 抗菌薬注射剤棟 竣工予定

2023年11月 バイアル棟 着工



### ① 抗菌薬注射剤棟

竣工

2024年4月

サプライチェーンリスクを軽減するための国内投資促進補助金事業に採択



### ② バイアル棟

竣工

2026年4月

ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備補助金事業に採択



# 経口剤生産能力の増強

経口剤(錠剤換算)生産能力 : 80億錠/年 → 90億錠/年

## 全星薬品工業 和泉工場

PTP包装ラインの新規導入により、10億錠の生産能力を拡大



2024年1月より、新規受託製品を出荷開始

### 予定数量

2023年度	: 0.7億錠
2024年度	: 6.4億錠
2025年度	: 6.6億錠

\* 3社4品目の合計数量



PTP包装ライン①

→ 2023年3月 : 搬入完了

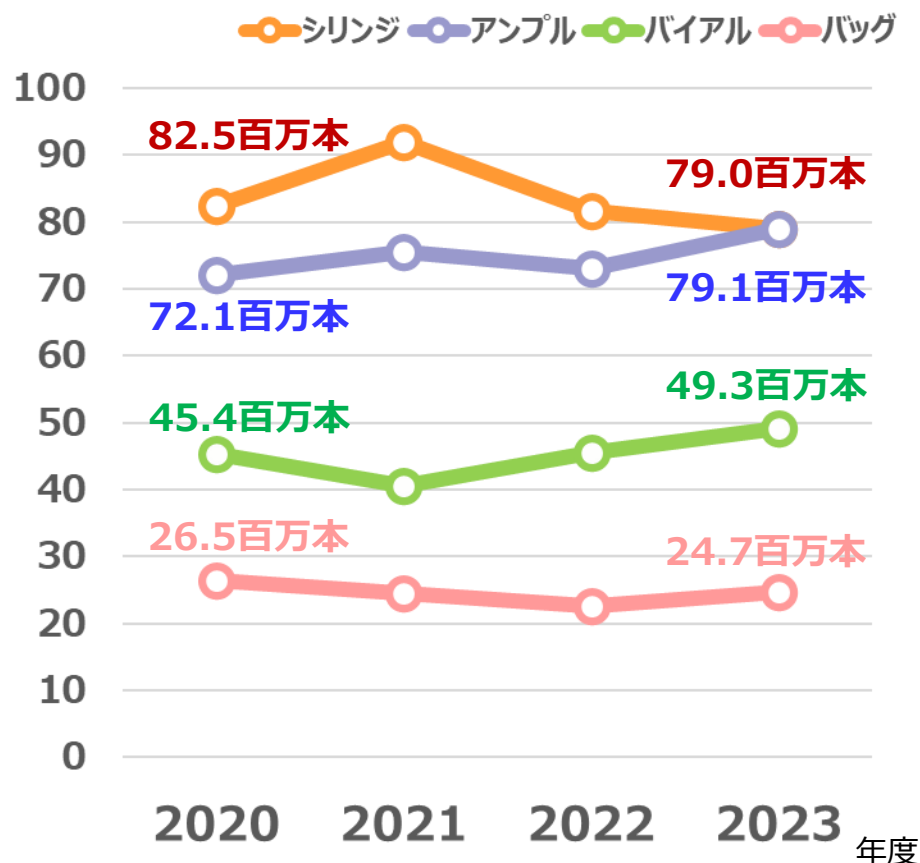
PTP包装ライン②

→ 2023年12月 : 搬入予定

# ニプログループの生産数量推移

## 注射剤

単位：百万本



## 経口剤

単位：億錠

